

地方分権改革シンポジウム

平成29年3月23日

株式会社 紡代表取締役 玉沖仁美

Copyright @tsumugi co.,ltd.

■自己紹介

幼稚園教諭を経て、1988年にリクルート入社。

日本各地のモノづくり・観光事業・人材育成事業等、地域コンサル事業に携わる。

初代沖縄支局長を経て沖縄県に出向し、沖縄県キャリアセンターの立ち上げに従事。その後、じゃらんリサーチセンター初代センター長に。

独立後、2008年に株式会社紡を設立。産品開発をテーマとした人材育成事業、地域資源を活かした地域産品や観光事業の開発を手掛ける。 2016年に株式会社しまつむぎを島根県隠岐の島町に設立。

内閣府、総務省、農林水産省、国土交通省等、審議会委員などを務める。

著書「地域をプロデュースする仕事」(英治出版)



■さざえカレーとのご縁

島の家庭料理を製品化。きっかけは「観光客が喜んで食るのはなぜだろう?」



・当初、役場の事業としてスタート JA海士の加工場にて製造 確実な商品を目指して、4年の時間をかけた (主な製造は2年)



- ・製造販売元は、JA海士としてスタート 販売スタート時は、試算42,000個(年間)に 対し、50,000個以上を売り上げる
- ・その後、JAが合併し現在は、隠岐どうぜん農業 協同組合となる

現在:年間 約2万数千個の売上

3

■「さざえカレー」ものづくりを人づくりからスタート

プロから学んで技術や知識を身に付け、現場で実践を繰り返す "やってもらうのではなく、自分たちで出来るようになる" 手作りを「商品」に辿り着く迄、苦労の連続だった でも、楽しかった!



著書にも書きました!

「地域をプロデュースする仕事」 玉沖仁美 (著) / 英治出版





■活動拠点



■自社商品開発も始めました







- ●地域への経済効果を生む
 - ・原材料に地域素材を使用する ・地元の販売店でも販売する

●商品の特徴

- ・体と環境に優しいものをつくること
- ・化学的なものや、合成物は使用しない 無添加
- ・原料は全て生産者の顔がみえるもの、 一緒に楽しんで行きたい

●目的

- ・地元に女性が「わ~!素敵」と気持ちの 上がるお土産品を作りたかった
- ・離島の事情に合った海外販路の確立。 自社商品じゃ無いと自由に挑戦できな かった

6